

令和 8 年度 第 1 回 学校運営協議会 議事録

令和 8 年 5 月 7 日（木）午前 9 時 45 分から 11 時 45 分まで

1 参加者

協議会委員 A氏（元特別支援学校校長）
B氏（浜名地区自治会連合会 会長）
C氏（湖西市民生委員）
D氏（浜名学園 施設長）
E氏（湖西市教育委員会学校教育課）
F氏（トヨタバッテリー株式会社）
G氏（本校 P T A 会長）

※欠席 2 人

学校関係者 校長、副校長、事務長、小学部主事、中学部主事、高等部主事、教務主任

2 議事録

（1）概要説明（副校長） 別紙資料

（2）自己紹介

校長 111 人でのスタート。子どもたちは、元気に意欲的に取り組んでいる。

教師も子どもたちを支える意欲をもっている。豊かな社会生活を実現するために、家庭や地域との連携が不可欠である。幅広い視点で支えていただけるようお願いしたい。

ア 協議会委員

A氏：昨年度に引き続き 3 年目となる。浜名特支には 10 年間勤めた経験がある。引き続き、子どもたちのためにできることを考えていきたい。

B氏：自治会長となり、2 年目の参加となる。今年度もできることに取り組みたい。

C氏：何年か関わってきている。地域に居住していることもあり、今年も協力していきたい。

D氏：2 年目の参加となる。昨年、浜名学園と浜名特支で一緒にチューリップの球根を植える交流を行うことができた。今年も何か一緒に取り組みたい。

G氏：今年度 P T A 会長となった。高 3 に息子が在籍している。

イ 本校職員

（3）会長、副会長選出

会 長 A氏

副会長 B氏 を選出し、全員の承認を得られた。

会長より…ざっくばらんに話をしながら、連携を大切にに取り組んでいきたい。

（4）令和 8 年度 学校経営計画「目指す生徒像」

ア 説明（校長） 別紙資料

・グランドデザインについて

教育目標：「豊かな社会生活を実現できる浜名の子」

合言葉：【笑顔 夢中 つながり】【チーム】

スローガン【幸せを 運ぶ はまな】

・学校経営計画について

イ 意見交換及び承認

B氏：地域とのつながりについて、避難所の開設について連携して考えていきたい。

C氏：ヒヤリハットについて、小さなけがでも報告することが大切。園に勤務していたころには、園内図を基にどこで何が起こったのか、環境の問題なのか、子ども自身の問題なのか些細なことでも話し合った。

「はまな talk」という新たな取り組みが良いと思う。

個と集団についての目標がくまなく立てられていると感じた。

D氏：A I やタブレット学習と聞くと時代の変化を感じる。

飲食店にてタブレットでの注文が増えている。経験がなくできないことが多い。現代社会に合った教育ができると良いのではないか。

G氏：授業について、息子から内容が易しいと聞いたことがある。個に応じた学習ができると良いと感じる。

司会：高等部の授業内容について、どうでしょうか。

高等部：易しいと感じる授業は何か教えていただきたい。

G氏：国語数学ではないか。

高等部：個別ではなく、小グループでの授業となる。今年度、グルーピングを変更して取り組んでいる。工夫して内容を整えたい。

司会：子どもたちを育てるための専門性を高めること、チーム、若手を育てるための工夫が大切である。現在、そのために取り組んでいることはあるか。

校長：日頃からの雑相（雑談や相談）を大切にしている。チームの中で、部主事、主任との関係が良く、分からないことは聞ける環境にある。専門性を高めることについては、今年度は授業研で助言者を招聘する計画を立てている。自分から学びたいと思える人が育つとよいと感じている。

司会：自立活動の実態表を基に、根拠のある授業展開ができるとよい。自立活動とは何か、説明していただきたい。

校長：6区分 27 項目の内容があり、教科の学習をする土台として、一人一人の実態に合わせ必要な目標を立てている。姿勢の保持、環境の把握、心理面、人との関わりなど

司会：一人一人の実態把握をして、目標設定をし、授業をすることが大切ですね。

(5) 校内参観 校内を 30 分ほど参観

(6) 参観後の感想

G氏：休み明けとは思えないくらい、みんなのびのびと活動に取り組んでいた。

年齢が上がるにつれて真剣さが増している感じがした。高3は、特に進路を決めるために頑張ってもらいたい。

D氏：実習の受け入れ時に見る様子と日常の授業の様子はまた少し違う。日常の様子を見ることができて良かった。

C氏：休み明けとは思えない落ち着きであった。一人一人の理解度に合わせて取り組んでいた。

B氏：中学部の修学旅行事前学習、高等部の生徒の様子を見てしっかりしていると感じた。タブレットを使いこなしている姿に驚いた。

司会：小学部→中学部→高等部と確実に成長している様子が分かる。授業が分かりやすいと感じた。高等部は、各学年での実習のキーワードを教師みんなが分かっており、子どもたちに伝えているところが良かった。子どもの思いや夢に寄り添った授業、やる気が出る授業だと感じた。

(7) 学校運営協議会の協議方針 別紙資料

ア 趣旨

① 学校運営への参加

イ 意見の申出

A 今回の重点

ウ 協議内容

① 学校及び地域等における課題について

【今年度新たに取り組みたいこと、継続して取り組みたいこと】

◎小学部

- ・五感を使って大きな絵を描く、田んぼ、地引網など、体験的な学習。
- ・地域に子どもたちの作品を展示できる場所があると良い。

◎中学部

- ・昨年、教室を避難所として設定、生徒同士で感想を伝え合った。
今年度は地域の方に評価していただく場を設けたい。
- ・地域の方との大倉戸海岸の清掃、地域の方を招いての事前学習の継続。
- ・昨年度チューリップの球根植えの後、観察を続け、もぐらよけを作った。
今年度、球根をとれると良い。
- ・体育大会でのダンス、海風祭の太鼓など、地域での発表の場があると子どもたちの自己肯定感が高まるのではないかと感じる。
- ・作業（陶芸）の専門家の方にアドバイスをいただきたい。

◎高等部

- ・作業学習（陶芸班）の外部講師の招聘。
- ・生徒会執行部の湖西高校文化祭への参加・集めたペットボトルキャップを一緒に納品する活動、軽スポーツ部の部活交流（サッカー）など、湖西高校との交流はできている。新居高校との交流ができていないため、できることを考えたい。
- ・作業学習について校外での学習の場を広げていきたい。トヨタバッテリーの秋祭りなど、まずは小集団で、地域に出ていきたい。環境整備班は、地

域の花壇での作業ができると良い。年間計画に関わることなので、1年間掛けて検討したい。

② 学校への必要な支援について

司会：高等部と湖西高校の部活交流のように、清掃なども、1度の体験的なことで終わらず、継続的に行うことができると関係が深まるのではないか。稲の収穫は長い期間関わることができる活動になるのではないか。何かアドバイスがあれば教えていただきたい。浜名学園の花の苗は素晴らしい。技術を高等部の農耕班の作業で教えていただくなどどうか。

高等部：農耕班だが、昨年度、卒業式に向けて花の苗も育てた。

D氏：正月にミニ門松を作る。季節のものであること、けがが心配であることなど、ハードルが高いが、本当は一緒にやれるとよい。

学園内での相談が必要となるが、中学部の太鼓の演奏を浜名学園で披露してもらう機会ができると良いのではないか。

副校長：本校に招待して来ていただき、聴いてもらうのもよいのではないか。

D氏：それも大丈夫だと思う。移動も少なくて済むので、その方が良いかもしれない。

司会：楽器やダンスについて、全員となると難しいかもしれないが、地域のこども園や老人ホームなどでもできると良い。

C氏：知波田幼稚園など、小規模になっている。園児数が減り、ほとんどこども園になってきている。そういうところとつながりがもてるとよいのではないか。園児が一番親しみやすいかと思う。

高等部：小さい子どもはダンスや太鼓など、一緒に体を動かしてくれそうである。

司会：防災に関しては、危機管理課の方々の忙しい時期は難しいが、そうでないときにレクチャーしてもらいながら評価をいただけると良い。

B氏：防災に関しては、危機管理課が管理しているが、実際に地区ごとに防災指導員がいる。危機管理課を通せば防災指導員を派遣してもらえる。地域防災指導員の数は多い。指導員の管理をしている隊長がおり、隊長とやり取りをする形となる。事前に日程や内容を何度か相談し、詳細を決めていく。

司会：地域の防災員というのは、例えば、字別などの防災訓練のときに消火器や三角巾の使い方を教えてくれる人なのか。

B氏：基本は地域の自主防災の組織の会長が中心となり地域の防災活動をするが、人手が足りなければ、地域指導員に来てもらうという形を取っている。

司会：湖西市役所の近くに消防署を建て直して、防災センターと名前が付いた。

B氏：危機管理課は、今はそちらに移っている。

司会：浜松市は、中央消防署のところに地震の関連施設があり、いろいろな取り組みをしている。同じように広げていけないかなと思う。地域の特別支援

学校として、つながりをもてるかもしれない。

B氏：計画はしているようである。古い消防署を取り壊して建ててできた。4階が危機管理課である。

C氏：以前、家庭教育学級という活動をしていたことがある。防災担当が5～6人来てくれ、簡易トイレの作り方、寒いときにどうするかなどコーナーを設け、コーナーを回って学習するということをした。今はそういう企画があるか分からないが、良い経験であった。

B氏：今も指導員が行っている。危機管理課に問い合わせると良い。

司会：花壇について、それぞれの地区の花の会が中心となっているが、浜名地区の花の会の担当者はどなたか。

C氏：自分の住んでいる地区の花の会の代表は知っている。ちょうど今植え替えをする時期。年3回か4回程度植え替える。

司会：もしタイミングが合えば、準備、耕す、少し道具を使って一緒に植えることなどできるかもしれない。花の会の方々も高齢化により、後継者を探しているようである。水やりも当番で行っている様子なので、近ければ行けるかもしれない。

高等部：近い場所であれば授業の時間に歩いて行ける。

司会：作品の展示場所についてはいかがか。

C氏：信用金庫には飾らせていただける。逆に依頼されることもある。

司会：図書館の2階で湖西市の方がよく展示している。展示するような場があるかもしれない。

G氏：新居のコミュニティセンターみたいなものがあり、そこで作品展示をしている。

高等部：「小松楼」という場所である。先月、卒業生の〇さんも作品展示をした。

G氏：そこも良いと思う。作品を展示できるような会合スペースである。

司会：体験についても、いろいろできると良い。以前、いちご農家さんの知り合いがいて、ジャムにするような出荷できない出来のいちごを採らせてもらった。子どもたちとたくさん採ってジャムを作った。事前に打ち合わせをし、作ったジャムを持ってお礼に行き、交流もできた。普通にいちご狩りをするのと高額だが、いちご農家さんとのつながりでできた活動であった。

B氏：大倉戸のいちご狩りを運営しているところに、昨年、と話を持ち掛けてみた。十年以上幼稚園を受け入れていたが、繁忙期の受け入れが難しく、旬が終わるころの受け入れとなり、品質の問題もあるのでやめてしまったとのこと。中之郷ではまだ個人的にいちごを作っている方が、幼稚園とつながっていると聞いたことはある。

司会：私たちから都合のつきそうなところに行って情報をお伝えすることもできるかもしれない。学校から直接問い合わせてもよいかもしれない。

C氏：梅の時期に梅を採って梅ジュースを作ることもあった。少し遠いが、旬が

終わるころまだ食べられそうなものがあればできるかもしれない。

司会：生活が豊かになるように、いろいろできると良い。具体的には今後考えて、工夫していけると良い。

副校長：この会は、傍聴の希望があればいつでもどうぞという姿勢で行っている。
この後議事録をまとめてホームページにも掲載する。それを見て、何か要望や傍聴の希望があった場合に公開していく。

③ 第2回以降の会議の傍聴について
希望があれば申し出を受ける。

④ その他

次回、第2回学校運営協議会は、7月2日（木）に行う。

【第1回の様子】



任命状をお渡ししました。



校内参観をしました。